



住み続けられるURに

高すぎる家賃の引き下げを

前都議会議員(中野区)

うえき・こうじ

植木 こうじ 日本共産党

共産党が UR、国交省に要請

日本共産党は5月27日、国土交通省とUR都市機構本社へ、安心して住み続けられるURの賃貸住宅を求める要請を行いました。

要請したのは以下の項目です。(下記囲み)

要請では、UR賃貸住宅にお住まいのみなさんから寄せられた「家賃が高すぎるために空き家が多い。家賃引き下げを」、「大型公共事業ではなく、エレベーターの設置などにこそ力を入れてほしい」など切実な声や願いをつきつけました。

国交省の担当者は、民営化について、民主党

→UR、国交省側
(左側)に要望書を手渡す吉良よし子さんと都議予定候補ら



政権による民営化方針の閣議決定は凍結となった。独立行政法人全体をどうするかが議論されており、その中で適切に対応したいと回答。UR側は具体的要望は支社などに伝えたいと述べました。

共産党の要請

- ①民営化を行わず公共住宅として守ること
- ②来年4月予定の家賃値上げを中止し、高すぎる家賃を引き下げること
- ③高齢者や障がい者、子育て世帯、若者への家賃軽減や支援策の実施
- ④住環境の改善やエレベーター設置の促進

実現へ、みなさんと力あわせがんばります

要請に参加し、これからもみなさんと一緒に声をあげ、行政やURに示す必要性を感じました。みなさんの願い実現へ、全力でがんばります。



参議院東京選挙区予定候補

きら・よしこ

吉良よし子



ご意見・ご要望は 03-3370-0311、FAX 03-3370-0471
2013年6月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階) 1965年11月12日第三種郵便物認可

「しんぶん赤旗」や「東京民報」をぜひお読みください